**科目名　聴解・読解Ⅰ（Ｎ３）**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **担当教員** | 森中　茂明 | | | | |
| **科目の種類** | 一般 | **単位区分** | 選択 | **単位数** | 2 |
| **授業方法** | 講義、演習 | **開講学期** | 前期 | **学年** | 1 |
| **学科・コース** | 情報システム学科 | | | | |

**授業概要**

・スリーエーネットワークより出版されている「中級を学ぼう」（中級前期）を参考書として

日本語能力試験Ｎ３程度の長文を読んで内容を理解する力をつける

・日本語能力試験Ｎ３程度の聴解試験問題をすることで日本語を聞いて理解する力をつける

（日本語能力試験の「読解」・「聴解」の部分に相当する）

**カリキュラムにおけるこの授業の位置付け**

・日本語学習での　日本語知識・聴解・読解　のうち、聴解・読解の部分の学習になる。

最終的な目標は日本語能力検定試験の合格であるが、「試験のための勉強」ではなく生活に

必要な（日本で生活する上で使用する）日本語を幅広く学習し、結果として試験に合格できる

実力を養成する。

**授業項目**

(1)　第１課：音楽と音の効果①→本文：ことばを確かめよう・内容を確かめよう

(2)　第１課：音楽の音の効果②→聴解タスクシート・作文（私の好きな歌）

(3)　第１課：聴解実践　　　　→Ｎ３聴解模擬問題

(4)　第２課：いい数字・悪い数字①→本文：ことばを確かめよう・内容を確かめよう

(5)　第２課：いい数字・悪い数字②→聴解タスクシート・作文（好きな数字・特別な数字）

(6)　第２課：聴解実践　　　　→Ｎ３聴解模擬問題

(7)　１課・２課総復習（予定通り進まなかったときのための予備日）

(8)　１課・２課の試験

(9)　第３課：「面白い」日本①→本文：ことばを確かめよう・内容を確かめよう

(10)　第３課：「面白い」日本②→聴解タスクシート・作文（日本に来て分かったこと）

(11)　第３課：聴解実践　　　　→Ｎ３聴解模擬問題

(12)　第４課：くしゃみ①　　　→本文：ことばを確かめよう・内容を確かめよう

(13)　第４課：くしゃみ②　　　→聴解タスクシート・作文（くしゃみ）

(14)　第４課：聴解実践　　　　→Ｎ３聴解模擬問題

(15)　３課・４課総復習（予定通り進まなかったときのための予備日）

(16)　３課・４課の試験

**授業の進め方**

授業は１単元を３回の授業で終了する形で行う、

１回目：長文を読んで出て来る単語の意味を学習し、文の内容を理解する

　　　　（ことばを確かめよう・内容を確かめよう）

２回目：教科書付属ＣＤを聴いて内容を理解する・学習した課の内容の作文を書く

３回目：日本語能力試験Ｎ３程度の聴解問題をする

（１）〜（６）で不備だった部分を（７）で補い、（８）で試験を行う

（９）〜（１４）で不備だった部分を（１５）で補い、（１６）で試験を行う

　試験は長文読解の問題を中心とした試験を行う

**授業の達成目標（学習・教育到達目標との関連）**

・Ｎ３程度の聴解問題を聞いて内容が理解できる。

・Ｎ３程度の長文を読んで書いてある内容を理解できる。

・自分の考えを自分の言葉で文章にすることができる（短い文章でよい）

**成績評価の基準および評価方法**

８回目の授業の時ペーパーでの長文を読解する問題中心の試験を行い評価する

・試験の点数が４４点以上であること

・８回の授業の内５回以上出席していること

・聴解については授業中に行う聴解問題より理解の程度を判断する

以上３点を合格条件として、合格者の評価は試験の点数に授業態度や出席状況を加味して算出する

**教科書**

下記のテキストを授業の柱とし、学生のレベルに応じて講義資料を配布し，その資料に沿って授業を進める．

・スリーエーネットワーク出版　「中級を学ぼう」（中級前期）

・アスク出版　日本語能力試験模試と対策

**参考書**

日本語能力試験対策問題集など。

**実務経験**

森中　茂明：昭和６３年よりコンピュータ教育学院で講師をつとめる

　平成１８年より留学生の日本語担当となり現在に至る。

**備考**

特になし